第15講 開国と江戸幕府の滅亡
PART1 列強の接近と開国

Chapter 1 列強の接近

目標
列強の接近の背景は何だろう？
アメリカが日本に接近してきたのはなぜだろう？

1 列強の接近

①ロシア船の接近と幕府の対応

1785年～**最上徳内**の北方探査

1792年 ロシア使節〔1 〕が**根室**に来航し通商を要求

※エカチェリーナ2世の使節として，漂流民**大黒屋光太夫**を送還。幕府は通商を拒否するが，ロシアとの紛争を避けるため長崎入港許可証を与える。

1798年 **近藤重蔵・最上徳内**が択捉島を探査

※「大日本恵登呂府」の標柱を立て，ロシアとの境界線を引く。

1799年 幕府が東蝦夷地を直轄しアイヌの同化政策を始める

1802年 幕府が蝦夷地奉行（のち箱館奉行）を設置

1804年 ロシアの露米会社支配人〔2 〕が**長崎**に来航し通商を要求

1807年 幕府が西蝦夷地も直轄（＝全蝦夷地を直轄）

※松前氏を陸奥国梁川藩に転封。箱館奉行を松前に移転し**松前奉行**とする。

1808年 〔3 〕が**樺太**とその対岸を探検し翌年に離島であることを発見

1811年～ゴローウニン事件（～13年）

※国後島で**ロシア軍艦**艦長ゴローウニンを捕縛。
翌年，報復のため〔4 〕が捕縛されるが，
彼の尽力で双方の交換が成立し和解。

1821年 幕府が蝦夷地を松前藩に返還

②イギリス船の接近と幕府の対応

1808年〔5 〕**事件**

※**イギリス軍艦**が長崎湾に侵入。オランダ商館員を人質に薪水・食糧を強要し退去。長崎奉行松平康英は自ら切腹，警備の佐賀藩鍋島氏も処罰される。

1825 年　〔6　　　　　　　　　　〕**〔無二念打払令〕**

※清・朝鮮・琉球船のみ対象外で，オランダ船も長崎以外では打ち払う。

1828 年　シーボルト事件

1837 年　〔7　　　　　　　　　　〕**事件**

※漂流民送還・通商要求の**アメリカ商船**を，相模国浦賀・薩摩国山川で撃退。

1838 年　水戸藩主徳川斉昭が「戊戌封事」で海防強化などを説き，翌年将軍に提出

1839 年　蛮社の獄

1840 年～〔8　　　　　　　　　　〕で**イギリスが清を破る**（～ 42 年）

※上海など 5 港の開港，香港島の割譲などを含む**南京条約**を締結。

1842 年　（天保の）**薪水給与令**→異国船打払令を撤回

ペリー

2　開国直前の幕府の対応

①列強の開国要求と幕府の対応

1844 年　オランダ国王による開国勧告を翌年に拒否

1846 年　**アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドル**が**浦賀**に来航し通商を要求

※アメリカは対清貿易船・捕鯨船の寄港地として日本の開国を切望していた。

1853 年　アメリカ東インド艦隊司令長官〔9　　　　　　〕が**浦賀**に来航し開国を要求

※琉球を経て久里浜に上陸し，フィルモア大統領の国書を提出。

12 代将軍家慶は国書を正式に受け取り翌年の回答を約束。4 隻の**黒船**は

「泰平の眠りをさます　上喜撰　たった四はいで夜もねむれず」

と狂歌に詠まれる。

ロシア極東艦隊司令長官**プチャーチン**が**長崎**に来航し開国と国境画定を要求

1854 年　ペリーが黒船 7 隻で神奈川沖に再来航

※横浜に上陸し，13 代将軍家定と**日米和親条約**を締結。

プチャーチンが伊豆国下田に再来航

※**日露和親条約**を締結。

まとめ

欧米の市民革命や産業革命，領土の拡大が列強接近の背景であった。

アメリカは，対清貿易船・捕鯨船の寄港地として日本の開国を切望した。

Chapter 2　開国

目標
日露和親条約の歴史的意義について知ろう。
不平等条約の内容について知ろう。

1　和親条約の締結（1854〜55年，4 か国）

①〔[1]　　　　　　　　　〕（**1854 年**，13 代将軍家定）

A　調印→横浜村でペリーと。

当時の**老中首座**は〔[2]　　　　　　　　〕（福山藩主）。

B　内容

日本と合衆国の永世不朽の和親，薪水・食糧の供給と難破船乗組員の救助，

下田・箱館の開港，領事駐在の許可，アメリカに対する**片務的最恵国待遇**など。

②日英和親条約（1854 年）

③**日露和親条約**（1854 年）→下田でプチャーチンと

A　内容

下田・箱館・長崎の開港，**択捉島以南を日本領・得撫島以北をロシア領とし**

〔[3]　　　　〕**は両国人雑居の地**。

B　結果

北方の国境画定が済み，幕府は蝦夷地を再直轄（1855 年）。

④日蘭和親条約（1855 年）

ハリス

2　通商条約の締結（1858年，5 か国）

①経過

1856 年　初代**アメリカ総領事**〔[4]　　　　　　　〕が下田に着任

※阿部正弘に代わる**老中首座**〔[5]　　　　　　　　〕（佐原藩主）と交渉開始。

アロー戦争〔第二次アヘン戦争〕（○英・仏 VS 清●）の天津条約を

引き合いにイギリス・フランスの脅威を説き，条約調印を強く迫る。

1858 年　堀田正睦が条約の**勅許**を得るため上洛

※〔[6]　　　　　　　　〕や一橋派（親藩・外様の雄藩）の反対により挫折。

南紀派（譜代・旗本）の〔[7]　　　　　　　　〕（彦根藩主）が**大老**に就任し

無勅許のまま独断で条約に調印。

②〔8　　　　　　　　　　　　　　　〕**（1858 年）**

A　調印

神奈川沖の米艦でハリスと。

B　内容

日本大君〔将軍〕と合衆国の親睦を約束，下田（のち閉鎖）・**箱館**のほかに

神奈川（のち**横浜**）・**長崎**・兵庫（のち**神戸**）・**新潟**を開港，江戸・大坂の開市，

通商は自由貿易とするがアヘン輸入は禁止，**協定関税〔関税自主権の欠如〕**，

内外貨幣の同種同量による通用，開港場に**居留地**を設置し

一般外国人の国内旅行を禁止，居留地内の**領事裁判権〔治外法権〕承認**など。

③結果

不平等条約のため，明治政府が改正に苦心することとなる。

④批准

1860 年，外国奉行新見正興・目付小栗忠順らがポーハタン号で渡米。

ワシントンでブカナン大統領に謁見し，批准書を交換した。

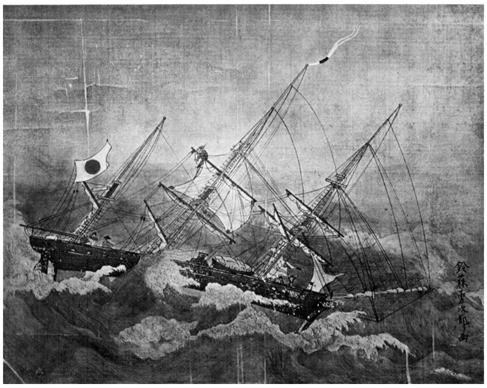
※**勝海舟**艦長の〔9　　　　　　　〕が随行，日本人の手による太平洋横断に初めて成功。

福沢諭吉（中津藩士）らのほかに，通訳として

ジョン万次郎〔中浜万次郎〕（土佐出身の元漂流民）も渡米した。

⑤安政の五か国条約（1858 年）

同年，**オランダ・ロシア・イギリス・フランス**とも同様の不平等条約を締結。



咸臨丸

まとめ

日露和親条約で初めて北方の国境画定がなされた。

和親条約で片務的最恵国待遇，通商条約で

領事裁判権の承認・関税自主権の欠如という不平等条項があった。

第 15 講　PART 1　確認問題

1　1792 年に根室に来航し通商を要求したロシア使節はだれか。

① レザノフ　② プチャーチン
③ ゴローウニン　④ ラクスマン

2　樺太とその対岸を探検し，離島であることを発見したのはだれか。

① 最上徳内　② 間宮林蔵
③ 高田屋嘉兵衛　④ 近藤重蔵

3　アメリカ商船を相模国浦賀・薩摩国山川で撃退した事件はどれか。

① シーボルト事件　② モリソン号事件
③ ゴローウニン事件　④ フェートン号事件

4　アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが来航したのはどこか。

① 下田　② 浦賀
③ 長崎　④ 根室

5　日米和親条約を締結した老中首座はだれか。

① 阿部正弘　② 井伊直弼
③ 安藤信正　④ 堀田正睦

6 日露和親条約で以南が日本領とされた島はどこか。

① 択捉島　② 国後島
③ 占守島　④ 得撫島

7 日米和親条約によって着任したアメリカ総領事はだれか。

① ロッシュ　② パークス
③ ヒュースケン　④ ハリス

8 安政の五か国条約の**締約国ではない国**はどこか。

① ロシア　② フランス
③ イギリス　④ ポルトガル

第 15 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④

①の**レザノフ**は 1804 年に来航したロシアの露米会社支配人，②の**プチャーチン**は 1853 年に来航したロシア極東艦隊司令長官，③のゴローウニンは国後島で捕縛されたロシア軍艦艦長。

2 解答：②

①の**最上徳内**と④の**近藤重蔵**は択捉島を探査した。

3 解答：②

③の**ゴローウニン事件**は国後島でロシア軍艦艦長ゴローウニンを捕縛した事件，④の**フェートン号事件**はイギリス軍艦が長崎港に侵入し，オランダ商館員を人質に薪水・食糧を強要した事件。

4 解答：②

ペリーは浦賀に来航し，開国を要求した。

5 解答：①

②の**井伊直弼**は日米修好通商条約を締結した大老。④の**堀田正睦**は阿部正弘に代わって老中首座となった。

6 解答：①

日露和親条約では，択捉島以南を日本領・得撫島以北をロシア領とした。

7 解答：④

1856 年，初代アメリカ総領事としてハリスが下田に着任した。

8 解答：④

安政の五か国条約は 1858 年に締結した 5 つの修好通商条約の総称で，アメリカのほかオランダ・ロシア・イギリス・フランスと結んだ。